

経 営 戦 略

都道府縣市町村名：秋田県 小坂町

特 別 会 計 名：小坂町簡易水道事業特別会計

第 1 経営の基本方針

水道水の確保及び供給は、ライフラインの重要性から見ても町民が生活するうえで必要不可欠なものであり、かつ、貴重な資源であることから、町が水道事業を経営し、おいしく安心な水道水を安定的に供給することが必要となります。

以上により、本経営戦略で掲げる基本方針は、次のとおりとします。

(1) 安全、快適な水道水の提供

安全な水道水の供給のために、良好な水源の確保・保全をし、水源に応じた施設整備と浄水処理における水質管理を図ります。

(2) 水道サービスの持続

簡易水道地区の人口及び有収水量の減少、老朽化施設の更新等、将来的な課題に備え、必要に応じて財政基盤の強化を目指した料金体系の見直しを検討します。

また、経営戦略を着実に実施するために、PDCAサイクルを活用した見直しを随時行います。業務内容と効果をチェックし結果を計画に反映させ、計測的な改善・更新を図ります。

(3) 簡易水道事業の水道事業への経営統合

平成 29 年 4 月に簡易水道事業を水道事業会計へ経営統合します。

平成 28 年度までに計画に沿って統合事業（建設投資）を実施し、安定的な水道水の提供を図ります。

第 2 計画期間

本経営戦略の計画期間は、平成 28 年度の 1 年間とします。

本事業は、平成 29 年度から水道事業へ経営統合を計画しており、収支の規模が大きく変わることから、経営状況等の変化に対応するため随時フォローアップを行い、必要に応じて見直しをおこなうこととします。

第3 投資・財政計画（別紙）

- (1) 投資についての説明
- (2) 財源についての説明

第4 効率化・経営健全化の取組

- (1) 組織、人材、定員、給与に関する事項

小坂町定員管理計画及び町職員の枠組みに沿って適正化を図り、必要最小限の人員で能率的に事業を執行していきます。

なお、職員給与費は下表のように推移しています。

職員給与費・職員数の推移

(単位：千円)

| | | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 簡易水道事業特別会計 | 職員給与費 | 5,475 | 6,423 | 6,340 | 5,666 | 7,913 | 8,440 | 9,560 | 9,558 |
| | 職員数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

※地方公営企業決算状況調査参照

- (2) 広域化に関する事項

広域化に関しては、上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョンに基づき、平成28年3月より休平簡易水道（小坂町）と十和田湖畔地区簡易水道（十和田市）の配水管を接続し、施設を共同利用しています。これにより、維持費を軽減するとともに住民に対して安定した飲料水の供給に努めます。

今後、他近隣市町村と広域化をした場合、施設整備の面で大規模な建設投資による経営の圧迫や料金上昇、また、人口が多い地域への設備整備の優先などが課題になると考えられます。

- (3) 民間の資金・ノウハウの活用に関する事項

水道事業者及び需要者以外の第三者で業務を委託できる業者が見込めないこと、第三者委託した場合のメリットが不明であることから、当面の必要性は低いと考えられます。

しかし、社会情勢の変化等により必要が生じた場合は、諸課題を考慮のうえ検討することとします。

(4) その他の経営基盤の強化に関する事項

これまでの多大な建設投資により経営が圧迫されている状況であり、資本投下の抑制及び維持管理費等サービス供給コストの節減合理化に努めます。

また、水道事業への統合によりますます経営が圧迫される見通しであるため、定期的な料金体系の見直しにより経営基盤の強化を図ります。

(5) 資金不足比率の見直しとその評価、地方財政法に定める資金の不足額がある場合にはその解決策

投資・財政計画によると、資本的収支では、簡易水道統合事業（建設投資）を実施するため、企業債償還金が増加、建設投資に見合う料金収入が見込めない状況で、水道事業へ経営統合することになります。

そのため、水道事業へ統合後は随時、収支の財政状況の変化をフォローアップすることにより、計画的な施設整備、維持管理費の削減に努め、必要に応じて、財源や需要額の将来予測をふまえた料金体系の検討が必要と考えられます。

(6) 資金管理・調達に関する事項

本事業は、平成29年度の水道事業への経営統合により、水道事業の企業債元金償還額が増加し、そのピークは平成35年度となる見通しとなっています。毎年度、建設改良事業の見直しを図り、資金不足に陥らないよう配慮する必要があります。

(7) 情報公開に関する事項

今後も、町広報やホームページ等を活用して、提供する情報とその内容について、充実させるよう取り組んでいきます。

(8) その他重点事項

防災対策や危機管理体制の強化について、町の防災・消防担当部局や民間企業、近隣市町村等とも連携して取り組んでいくこととします。

(参考)

(1) 事業の意義、提供するサービス自体の必要性

水道事業は、日常生活に欠くことのできないサービスであり、安定的かつ継続的に供給する必要があります。

(2) 公営企業として実施する必要性

水道事業は住民生活に密接に関わることから、営利主義ではなく公益優先主義によるべきものであり、今後も公営企業として実施することが適当と考えられます。

投資・財政計画(説明)

投資についての説明

本経営戦略では、平成29年度の水道事業への経営統合までの計画としております。

経営統合前に、簡易水道2地区(若木立・野口地区)に砂子沢浄水場から水道水を供給するため、補助事業を活用し水道施設を整備、総事業費651,324千円として資本的収支の見通しを立てております。

経営統合後は、建設改良費に伴う企業償還金(簡易水道分)が多額になることから、計画的な施設整備、維持管理費の削減に努める必要があります。

財源についての説明

収益的収支については、平成27年度～28年度は平成26年度までの簡易水道事業の実績をもとに算定、平成29年度からは水道事業へ経営統合するため、水道事業の経営戦略に含めました。

統合簡易水道施設整備事業により、企業償還金(簡易水道分)がますます増加、経営統合後の水道事業の負担が増すため、随時、収支の財政状況の変化をフォローアップすることにより、必要に応じて、財源や需要額の将来予測をふまえた料金体系の検討が必要と考えます。

投資・財政計画

(単位:千円, %)

| 区分 | 年度 | 年 | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------|---------------|---------------|---------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | H25年度 (決算) | H26年度 (決算) | 本年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 |
| 収益の収入 | 1 総収入 | 24,014 | 20,552 | 22,352 | 22,850 | | | | | | | | | |
| | (1) 営業収入 | 14,853 | 15,080 | 14,163 | 13,741 | | | | | | | | | |
| | ア 料収入 | 14,821 | 15,061 | 14,132 | 13,713 | | | | | | | | | |
| | イ 受託工事収入 | | | | | | | | | | | | | |
| | ウ その他 | 32 | 19 | 31 | 28 | | | | | | | | | |
| | (2) 営業外収入 | 9,161 | 5,472 | 8,189 | 9,109 | | | | | | | | | |
| | ア 他会計繰入金 | 9,104 | 5,415 | 8,133 | 8,853 | | | | | | | | | |
| | イ その他 | 57 | 57 | 56 | 256 | | | | | | | | | |
| | 2 総費用 | 24,014 | 20,552 | 22,352 | 22,850 | | | | | | | | | |
| | (1) 営業費用 | 20,220 | 17,035 | 19,105 | 17,413 | | | | | | | | | |
| ア 職員給与 | 9,560 | 9,559 | 9,558 | 7,179 | | | | | | | | | | |
| イ その他 | 10,660 | 7,476 | 9,547 | 10,234 | | | | | | | | | | |
| (2) 営業外費用 | 3,794 | 3,517 | 3,247 | 5,437 | | | | | | | | | | |
| ア 支払利息 | 3,794 | 3,517 | 3,247 | 5,437 | | | | | | | | | | |
| イ その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 収支差引 (A)-(D) (E) | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 資本的収入 | 7,467 | 7,744 | 218,793 | 448,896 | | | | | | | | | | |
| (1) 地方債 | | | 133,800 | 292,700 | | | | | | | | | | |
| うち資本費平準化債 | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 他会計補助金 | 7,467 | 7,744 | 8,617 | 45,291 | | | | | | | | | | |
| (3) 他会計借入金 | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 固定資産売却代金 | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 国(都道府県)補助金 | | | 76,376 | 110,905 | | | | | | | | | | |
| (6) 工事負担金 | | | | | | | | | | | | | | |
| (7) その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 資本的支出 | 7,467 | 7,744 | 218,793 | 448,896 | | | | | | | | | | |
| (1) 建設改良費 | | | 210,760 | 440,564 | | | | | | | | | | |
| うち職員給与 | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 地方債還金(H) | 7,467 | 7,744 | 8,033 | 8,332 | | | | | | | | | | |
| (3) 他会計長期借入金返還金 | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 他会計への繰出金 | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) その他 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 収支差引 (F)-(G) (I) | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度から水道事業へ経営統合 | | | | | | | | | | | | | | |

